







ステップ 6

生ごみや落ち葉などの堆肥化を実践する!

生ごみなどを使って土作りをすると、農薬も化学肥料も使わずに栄養価の高い、美味しい野菜を作ることができます。堆肥化にはいろんな方法がありますので、自分のライフスタイルに合った方法で実践してみましょう!

処理機器の種類と処理内容

生ごみ処理機器	微生物による分解型	好気性	★コンポスト容器	生ごみに乾いた土や、落ち葉・草・剪定チップなどをまぜ、微生物の力で生ごみを分解する。	 P13
			段ボールコンポスト	段ボール箱にピートモスともみ殻くん炭を入れたものに生ごみを混ぜ、微生物の力で分解する。	 P17, 18
		大地コンポストプランター方式	畑等に直接生ごみを混ぜ、土の中の微生物の力で分解する。	 P19~P22	
		嫌気性	★密閉容器	空気のない状態で働く微生物の力を利用して生ごみを発酵させた後、土に混ぜて熟成させる。	 P14
	電動式	★バイオ式	微生物の活動を促すため、かくはん・加熱を行い、微生物の力で生ごみを分解した後、土に混ぜて熟成させる。	 P15	
		★乾燥式	生ごみをかくはんしながら加熱し、乾燥させた後、土に混ぜて熟成させる。		
	剪定枝葉粉砕機	電動式	★回転刃式（チップが細かい）	腐葉土・土壌改良材の代わりとして、また、堆肥の原料としても利用できます。	 P16
			★ギア式（チップが大きめ）	マルチング材として利用したり、腐葉土・土壌改良材の代わりに利用できます	

★印があるものについては、補助制度があります。

詳しくは購入前に資源循環推進課までお問い合わせください。